



令和7年度 とくしま集落再生表彰

一般社団法人 うみのこてらす

子ども・若者が自分らしく歩める社会へ 過疎地から広がる、ハイブリッド型支援

「子ども支援の空白地帯」において、生まれ育った環境に関わらず、すべての子ども・若者が自分らしく人生を歩める社会を目指し、牟岐町を拠点に令和3年より活動を開始した。不登校や経済的困窮など、生きづらさを抱える子どもたちへ「つながり・学び・体験」を届けている。

活動の中で特筆すべきは、過疎地特有の制約を突破する「ハイブリッド型子ども支援」である。廃校を活用した居場所や子ども食堂では、地域の退職教員や大学生が一人ひとりに寄り添い、深い信頼関係を構築。そこに広域からのオンライン学習支援を掛け合わせることで、リソースの限られた地域でも質の高い「学び」と「繋がり」を保障している。すでに14校での出席扱い認定を実現するなど公的連携も深化。地方の課題である距離と人材不足を、ICTと人の温かさの融合で乗り越えるその仕組みは、全国の過疎地域に通じる持続可能なモデルとして注目されている。

一般社団法人 うみのこてらす

- 住所 / 徳島県海部郡牟岐町大字中村字本村10番地55
- 代表者 / 川邊 笑
- 連絡先 / 070-1465-4894



(写真上)廃校を活用した居場所での一コマ。地域の大人や大学生と交流し、安心して過ごせる「第三の居場所」となっている。

(写真下)退職教員や社会福祉協議会、ボランティアらが継続的に関わることで「地域で子どもを見守る文化」が育ちつつある。